

政策医療機能分類名称 がん

番号	指標 (大分類)	指標 (小分類)	備考	測定値			目標値	目標	期間				計算式				
				小数部 最大桁数	最大値	最小値			単位	運用開始年月		運用終了年月		測定 期間	報告期日		
										年	月	年				月	年
1	胃がん全患者数		当該年度に新規に胃がんと診断された実患者数	0		240	人			2004	4			年度	4	31	P(1)
2	胃がん治療関連		関連死：有害事象による死亡														
		死亡者数	当該年度に何らかの胃がん治療を受けた患者のうち関連死した実患者数で死亡の時期は問わ	0		3	人			2004	4			年度	4	31	P(3)
		死亡率	上記患者数/当該年度に何らかの胃がん治療を受けた実患者数	1	100	0.01	%	0から100		2004	4			年度	4	31	(P(3)÷P(2))×100
3	胃がん(stage)切除例の5年生存率		当該年度から5年前の年度に胃がんに対する切除術を受け総合病期(stage)と診断された患者のうち5年生存している実患者数/当該年度から5年前の年度に胃がんに対する切除術を受け総合病期(stage)と診断された実患者数 - 追跡不能患者数	1	100	40.4	%	0から100		2004	4			年度	4	31	(P(5)÷(P(4)-P(6)))×100
4	胃がんEMR施行例(実施件数)		良性疾患、食道がん、大腸がん等胃がん以外のものは含まない 同一症例の2病変に対する異時の治療は別々に計算	0		38	件			2004	4			年度	4	31	P(7)
5	乳がん全患者数		当該年度に新規に乳がんと診断された実患者数	0		319	人			2004	4			年度	4	31	P(8)
6	乳がんの乳房温存手術率		当該年度に行った乳がんの乳房温存手術件数/当該年度に行った乳がんの根治手術件数	1	100	50.9	%	0から100		2004	4			年度	4	31	(P(10)÷P(9))×100
7	乳がん治療関連		関連死：有害事象による死亡														
		死亡者数	当該年度に何らかの乳がん治療を受けた患者のうち関連死した実患者数で死亡の時期は問わ	0		0	人			2004	4			年度	4	31	P(12)
		死亡率	上記患者数/当該年度に何らかの乳がん治療を受けた実患者数	1	100	0	%	0から100		2004	4			年度	4	31	(P(12)÷P(11))×100
8	乳がん(stage)切除例の10年生存率		当該年度から10年前の年度に乳がんに対する切除術を受け総合病期(stage)と診断された患者のうち10年生存している実患者数/当該年度から10年前の年度に乳がんに対する切除術を受け総合病期(stage)と診断された実患者数 - 追跡不能患者数	1	100	72.4	%	0から100		2004	4			年度	4	31	(P(14)÷(P(13)-P(15)))×100
9	大腸がん入院全患者数		当該年度に新規に大腸がんと診断され入院治療した実患者数	0		111	人			2004	4			年度	4	31	P(16)
10	大腸がん治療関連		関連死：有害事象による死亡														
		死亡者数	当該年度に何らかの大腸がん治療を受けた患者のうち関連死した実患者数で死亡の時期は問	0		0	人			2004	4			年度	4	31	P(18)
		死亡率	上記患者数/当該年度に何らかの大腸がん治療を受けた実患者数	1	100	0	%	0から100		2004	4			年度	4	31	(P(18)÷P(17))×100
11	大腸がん(stage)切除例の5年生存率		当該年度から5年前の年度に大腸がんに対する切除術を受け総合病期(stage)と診断された患者のうち5年生存している実患者数/当該年度から5年前の年度に大腸がんに対する切除術を受け総合病期(stage)と診断された実患者数 - 追跡不能患者数	1	100	60	%	0から100		2004	4			年度	4	31	(P(20)÷(P(19)-P(21)))×100
12	大腸がんポリペクトミー(実施件数)		良性疾患等大腸がん以外のものは含まない EMRも含む	0		10	件			2004	4			年度	4	31	P(22)
13	放射線治療実施患者総数		当該年度に放射線治療を開始した実患者数	0		556	人			2004	4			年度	4	31	P(23)
14	根治照射実施率		当該年度に根治照射を開始した実患者数(手術例は除く)/上記患者数	1	100	33.8	%	0から100		2004	4			年度	4	31	(P(24)÷P(23))×100
15	子宮がん全患者数		当該年度に新規に子宮がんと診断された実患者数	0		41	人			2004	4			年度	4	31	P(25)
16	子宮がん手術治療関連		関連死：有害事象による死亡														
		死亡者数	当該年度に何らかの子宮がん治療を受けた患者のうち関連死した実患者数で死亡の時期は問	0		0	人			2004	4			年度	4	31	P(27)
		死亡率	上記患者数/当該年度に何らかの子宮がん治療を受けた実患者数	1	100	0	%	0から100		2004	4			年度	4	31	(P(27)÷P(26))×100
17	子宮頸がん(stage)の5年生存率		当該年度から5年前の年度に子宮頸がんに対する治療を受け総合病期(stage)と診断された患者のうち5年生存している実患者数/当該年度から5年前の年度に子宮頸がんに対する治療を受け総合病期(stage)と診断された実患者数 - 追跡不能患者数	1	100	46.9	%	0から100		2004	4			年度	4	31	(P(29)÷(P(28)-P(30)))×100
18	肺がん全患者数		当該年度に新規に肺がんと診断された実患者数	0		208	人			2004	4			年度	4	31	P(31)
19	肺がん治療関連		関連死：有害事象による死亡														
		死亡者数	当該年度に何らかの肺がん治療を受けた患者のうち関連死した実患者数で死亡の時期は問わ	0		2	人			2004	4			年度	4	31	P(33)
		死亡率	上記患者数/当該年度に何らかの肺がん治療を受けた実患者数	1	100	0.01	%	0から100		2004	4			年度	4	31	(P(33)÷P(32))×100
20	肺がん(stage)切除例の5年生存率		当該年度から5年前の年度に肺がんに対する切除術を受け総合病期(stage)と診断された患者のうち5年生存している実患者数/当該年度から5年前の年度に肺がんに対する切除術を受け総合病期(stage)と診断された実患者数 - 追跡不能患者数	1	100	61.5	%	0から100		2004	4			年度	4	31	(P(35)÷(P(34)-P(36)))×100
21	肝細胞がん全患者数		当該年度に新規に肝細胞がんと診断された実患者数	0		67	人			2004	4			年度	4	31	P(37)
22	肝細胞がん治療関連		関連死：有害事象による死亡														
		死亡者数	当該年度に何らかの肝細胞がん治療を受けた患者のうち関連死した実患者数で死亡の時期は	0		0	人			2004	4			年度	4	31	P(39)
		死亡率	上記患者数/当該年度に何らかの肝細胞がん治療を受けた実患者数	1	100	0	%	0から100		2004	4			年度	4	31	(P(39)÷P(38))×100
23	肝細胞がん(stage)治療例の5年生存率		当該年度から5年前の年度に肝細胞がんに対する何らかの治療を受け総合病期(stage)と診断された患者のうち5年生存している実患者数/当該年度から5年前の年度に肝細胞がんに対する何らかの治療を受け総合病期(stage)と診断された実患者数 - 追跡不能患者数	1	100	15.1	%	0から100		2004	4			年度	4	31	(P(41)÷(P(40)-P(42)))×100
24	オピオイド使用例に対する服薬指導		癌性疼痛を有する患者でのオピオイド使用例に対する服薬指導件数(延件数)	0		618	件			2004	4			年度	4	31	P(43)
		率	癌性疼痛を有する患者で当該年度にオピオイドを使用し服薬指導を受けた実患者数/癌性疼痛を有する患者で当該年度にオピオイドを使用した実患者数	1	100	49.9	%	0から100		2004	4			年度	4	31	(P(45)÷P(44))×100

報告期日・月・4'というのは、測定期間満了から4ヶ月後の月が報告期限ということ。
この報告の場合、測定期間が年度であるため報告期限は、7月31日となります。